

NO.	97	講座形式		体験型		
講 座 名	生物多様性について考えてみよう					
分 野	メインの分野	地球温暖化防止	リサイクル・廃棄物	生物多様性・自然保護	森林保全・緑化	大気環境保全
	その他				○	
	水環境保全	化学物質対策	環境全般	地域環境管理	消費・生活	その他
対 象 者	幼稚園・保育園	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学生	高校生	大学生
					○	
	一般	企業・事業所	対象 その他			
	○	○				
参加可能人数	20名～40名		実 施 時 間	①60分～90分 ②60分～90分を2回～3回		
目 的	身近な生活の場やその環境を考えることで、生物多様性の意味や大切さを感じる					
プ ロ グ ラ ム 内 容	1. ワークショップ ①生物多様性とは(概要説明) ②身近な生物多様性を考えてみる(質問形式ワークショップ) ・外来種はなぜ問題なの？(在来種の絶滅危機) ・温暖化はなぜ問題なの？(美しいサンゴ礁の危機、未知の感染症の恐怖など) ・地中海になぜ森がないの？(キプロス島は古代には松林に覆われていた) ・種の絶滅(破壊)は文明を滅ぼす？ ・原生林と里山はどちらが多様？ ・里山はどうやって作られた？(人の手による生物多様性と文化)等の質問 ③生物多様性はなぜ必要？ 2. 生物の多様な空間づくり ①手の入っていない里					
申 込 者 側 で 用 意 し て い た だ く も の					申 込 者 の 材 料 費 等 負 担	
条 件 ・ 注 意 点	事前打ち合わせをしたい					
代 表 講 師 氏 名	門上 幸子					
代 表 講 師 経 歴	1950 年生まれ ■資 格：環境カウンセラー(環境・市民部門)、森林インストラクター、グリーンアドバイザー ■専門分野：造園コンサルタント、まちづくりコンサルタント ■活動内容：ひょうごの森インストラクター、公益財団法人兵庫丹波の森協会丹波の森研究所研究員(企業の森づくり)、NPO 法人地域再生研究センター					
そ の 他 ス タ ッ フ	門上 保雄(講師)					
メ ッ セ ー ジ	花やみどり、里山と人との関係をもっと親しく、もっと楽しくすることで私たちは自然環境と近づき、住み良い環境を築く心を育てることができると思います。そんな活動を続けたいです。					

